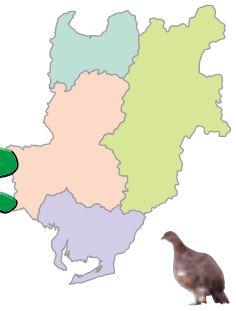




国民の森林・国有林

広報

# 中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>



## これからの国有林を担う若い力 フレッシュマン12名が羽ばたく!!

(P4~5に関連記事)

主 な 項 目	○ 職員の異動 .....	P2~4、7~11
	○ 新規採用者の紹介 .....	P4~5
	○ 風景紀行「巖立と小坂の滝」 .....	P12

# 新任幹部挨拶

## ◆新総務部長



木村 大助

この度、4月1日付で総務部長を拝命しました木村です。

これまで関東局、北海道局、東北局、林野庁に勤務し、東北局では、天然秋田杉、青森ヒノキの販売に携わりましたので、木曾ヒノキの産地で勤務すれば、日本三大美林の産地を全て経験することになり山官名利に尽きることを感謝しているところです。

中部森林管理局には、林野庁業務課時代に御先祖祭に出席したと木曾谷に業務出張に来ただけで、本格的な勤務は初めてです。早く管内事情を把握し、皆様のお役に立てるよう努めて参りますのでよろしくお願ひします。

ところで、昨今、公務員に対して厳しい目が向けられているのはご承知のことと思います。農林水産省でも業務遂行上の不作為、錯誤、服務では職務専念義務違反、迷惑条例違反、飲酒運転、スピード違反等々いろいろな不祥事があり、それを知る立場にいてつくづく感じたのは、一つの不祥事が組織のありようを大

きく変えてしまうことです。例えば、年金記録の改ざんで社会保険庁の組織がなくなりました。決して他人事だとは思わないでください。惰性に流されず常に国民目線を意識していただき、不祥事の目を摘んでいただくことを切に願ひします。

また、安全問題については、労働災害のない健康で明るい職場が大切ですが、通勤災害等車の事故が多いようです。長野に赴任して直感したことは、車が近づいているのに歩行者が平気で斜横断すること、市内であるにも関わらず車のスピードが速いことです。公私を問わず安全運転には特に注意を払っていただきたいと思ひます。

今、林野庁では、森林・林業再生プラン推進本部の名の下にいろいろな施策が検討されています。例えば、森林整備を進めるため、まずは路網整備や人材育成、今いる人材の有効利用などを集中的に実施し、低コストで木材を搬出して森林資源を最大限活用する川上対策、通常国会に「公共建築物の木材利用促進法」が提出されていますが、これを通じて小学校や地方の役所は木造建築で建てる川下対策などです。森林・林業に対してこれまでにない追い風が吹き、その率先した取り組みが国有林野事業にも期待されています。

この機会をチャンスに代え、技術集団として中部森林管理局の存在意義をこれ

までも増して国民の皆様様に理解していただくことが必要ではないかと考えています。伝統ある中部森林管理局の皆さんと一緒に仕事ができることを誇りに思いつつ、私自身も率先垂範して業務に取組んで参りたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

## ◆木村部長の略歴

生年月日 昭和33年8月7日

本 籍 秋田県大曲市

略 歴 秋田県立大曲農業高等学校卒

(S52・3)

昭52・4 秋田局事業部作業課に採用

後、秋田局湯沢署、前橋局郡

山署、秋田局湯沢署、林業講習所、北海道局計画課・指導

普及課、林野庁経営企画課、

農林水産省経済局、秋田局森林整備課、東北局森林整備課

を経て

平11・4 秋田森林管理署大曲事務所長

〳 13・8 東北森林管理局販売課長

〳 16・4 東北森林管理局職員厚生課長

〳 17・4 林野庁業務課販売班担当課長

補佐

〳 19・9 林野庁林政課人事管理班担当

課長補佐

〳 21・4 林野庁林政課人事第一班担当

課長補佐

〳 22・4 中部森林管理局総務部長

## ◆新森林整備部長



飯干 好徳

この度、4月1日付で森林整備部長を拝命いたしました飯干でございます、よろしくお願ひ申し上げます。

私、生まれは九州宮崎の高千穂というところ。天孫降臨、天の岩戸など観光地として、それなりに知られております。中部局管内は初めてですが、この管内にも、御柱祭り等古くからの伝統が感じられ、言葉で言い表せない親しみを感じております(ここ信州では、地バチ(蜂の子)が食されていますが、高千穂では大スズメバチも食しますし、そういった点でも)。

中部森林管理局は、木曾ヒノキに代表される優良な材に加え、カラマツ等の森林資源にも恵まれた歴史と伝統のある森林管理局であり、そこに勤務できましたことは誠に光栄であり、責任も感じています。できる限り早急に管内の状況把握等に努力して参りたいと考えており、職員の皆様には、その点でも、ご指導を賜れば幸いと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。

さて、現在の森林・林業を廻る情勢は、二酸化炭素の吸収源対策としての間伐の実行に引き続き、林業の産業としての再

生という点でも注目を浴びています。具体的には、昨年末に林野庁で策定された「森林・林業再生プラン（コンクリート社会から木の社会へ）」の実現に向けて、国有林野事業におきましても積極的に取組が必要とされているところです。

中部森林管理局におきましても、低コスト・高効率作業システムを取り入れた製品生産事業発注の拡大、その普及に資する民有林関係者を含めた現地検討会の開催、民有林との共同施業団地化の推進、国産材自給率アップに資する木材の安定供給への対応等々、取り組むべき課題が山積しております。これらの取組につきましては、その実際の現場であります各森林管理署・所の担当の職員の方々が十分に力を発揮できるよう、局担当課・担当者とともにその支援について努力して参りたいと考えておりますので、この点でもよろしくお願い致します。

一方、林野庁では、国有林野事業の改革について検討が進められておりますが、公務員に対する目線も非常に厳しくなっていることもあり、今一度、国有林で働く人間としての果たすべき役割を認識するとともに、地域の要望への的確な対応等国有林の支援者を獲得するような行動に心がけることが重要と考えております。

最後に、健康で明るく災害のない職場作りに向けて、私自身率先して取り組んで参りますので、職員の皆様方も、日頃

の健康管理、現場での作業における安全管理に十分ご留意していただきますようお願い致します。

◆飯干部長の略歴

生年月日 昭和35年12月15日

本籍 宮崎県西臼杵郡高千穂町

略歴 九州大学農学部林学科卒業 (S59・3)

昭和59・4 林野庁計画課に採用後、林野

庁経営企画課、東京局販売

課・治山課・計画課、林野庁

計画課・経営企画課（チリ共

和国経済大蔵省産業開発公社

へ派遣）を経て

平9・4 東京宮林局事業部企画官

〳9・12 林野庁治山課保安林整備指導

官

〳10・4 林野庁治山課企画班担当課長

補佐

〳13・4 林野庁業務課土地利用班担

当課長補佐

〳16・4 林野庁研究普及課研究班担当

課長補佐

〳18・1 林野庁研究保全課総括課長補

佐

〳19・4 東京局利根沼田森林管理署長

〳21・8 林野庁管理課監査官

〳22・4 中部森林管理局森林整備部長

お世話になりました

◆前総務部長

是松 雅巳

この度の異動で北海道森林管理局函館事務所勤務となりました。昨年の四月に、中部森林管理局に参りまして、一年間という短い期間でありましたが、職員の皆様方には大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

長野の善光寺のご開帳にあわせて参りまして、局の耐震工事が終わると同時に去っていくような感じですが、思い返すとあつと言う間の一年だったような気がしております。

私は、北海道出身ということもあり、本州の局での経験は、中部局が初めてであり、地域の実情もよくわからず最初は戸惑いもありました。また、着任早々いろいろと事案もあり、お盆くらいまでは落ち着かない状態であったと思っております。このようなことから、最初は署等になかなか行けなかったのですが、いろいろな機会を捉えてなんとかこの一年で、管内の森林管理署等は全て回ることができました。その際に、国有林の現場や山々等を見ることができ、木曾谷等非常に印象に残っているところも多く、良い思い出となっております、このことから歴史と伝統のある中部局で勤務できま

したことは大変良かったと思っております。

す。

今度参ります北海道の函館は、旧函館局時代に、管内に約十年ほど勤務していたところで、その間函館市内にも六年ほど住んでおり、今回で三度目の勤務となります。私にとっては、不思議と縁があるところで思い出の地でもありますので、ここで勤務ができますことはある意味大変幸せに思っております。

函館管内は、北海道内のなかでは、森林資源はそれほど恵まれていない地域ですが、山あり海ありと自然環境には恵まれており、見るべきところも多くあります。また、函館市内は観光地でもあり海のものも美味しいところですので、何らかの機会があればおいでいただければと願っております。

最後になりますが、中部森林管理局の益々のご発展と職員の皆様方のご健勝を祈念申し上げます、お別れの挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

◆前森林整備部長

桂川 裕樹

この度の異動で、二年前と同じく林野庁国有林野部業務課勤務となりました。

この二年間、楽しく思いきって仕事をさせていただき、ありがとうございます。

林野庁国有林野部には長く在席しておりましたが、局・署等での勤務は十五年ぶりであり、良い勉強をさせていただきました。

たと感じております。私生活におきましても、妻と二人で管内各地を巡らせていただきましたし、登山も再開いたしました。実に充実した二年間でございます。

さて、赴任した際の挨拶を読み返しますと、「国産材時代が、昔の期待とは違う形かも知れませんが、まさに到来しようとしています」として、こうした中で国有林は「安定供給が生み出す国産材需要の拡大、流通や加工の構造改革、低コスト化によるメリットの山元への還元など、民有林・国有林共通の林政の重要課題」について、「いかに貢献していくか、新たな林業のモデルをどのように示していくか」が求められている、と書いております。

僭越ながら申し上げさせていただければ、国産材自給率がさらに高まるとともに、森林・林業再生プランが策定された現在、この流れは、ますます加速されています。「民有林行政が補助金等を手段とするのに対して、国有林は日々の業務を通じて課題の実現に寄与することができます。

自分たちの仕事は、どれだけの政策的価値を生み出せるのか、管内の林業全体の中で先駆けとしての役割をどのように果たしていくのか、一緒に考え、取り組んでみようではありませんか。」

という二年前の私の呼びかけは、これから勤務する業務課からも同じように発

信させていただきたいと考えております。

今後の国有林の姿は未だ明らかとなっておりませんが、国民から、社会から、林業界から求められている政策課題の実現に貢献することこそ、これからの国有林にとって重要な課題ではないでしょうか。

我々国有林の技術者は、国有林の管理経営を通じて培った知見と技術を活かす、それを果たす能力があると信じています。これからも、ポジティブこそ違え、ともに努力していこうではありませんか。

一方、林業経営を魅力あるものとするためには安全の確保が当然の基盤であり、その意味において、請負事業者の労働災害件数の増加はまことに遺憾でした。

私自身の力不足を感じたところで恐縮ではございますが、職員の皆様にはそれぞれの立場で引き続き、事業主自らが責任をもって安全確保に取り組む姿勢を助長するべく一層のご指導をお願い申し上げます。

最後に、中部森林管理局が管内の森林・林業をリードする存在となることを、そして職員の皆様方のご健勝を祈念し、お別れのご挨拶とさせていただきます。

## 新規採用者の紹介

どうぞよろしく  
お願いします。



- ①出身地
- ②趣味・特技
- ③社会人になったの抱負

平成二十二年四月、十二名（Ⅲ種七名、Ⅱ種五名）の新規職員が採用となり、それぞれの森林管理署等に配属され、社会人としての第一歩を踏み出しました。

新規採用者の皆さんからの抱負等を紹介します。

### ☆Ⅲ種採用



かづき 久古 (中信署)

- ①岐阜県郡上市
- ②散歩、植物観察、写真撮影
- ③社会人として、責任感を持って行動する。



あつき 候野 (南信署)



あつし 中谷 (木曾署)

- ①岐阜県高山市
- ②バドミントン、クワガタの採取・飼育
- ③分らないことばかりですが、一生懸命頑張りたいと思います。



しんや 岩下 (飛騨署)

- ①岐阜県高山市
- ②読書
- ③分らないことが多いと思いますが頑張ります。



さとこ 源田 (飛騨署)

- ①長野県佐久市
- ②釣り（溪流・海）、自転車、山登り
- ③私は社会経験がありますが、新たな気持ちで何事にもチャレンジしていきます。

- ①岩手県洋野町
- ②音楽鑑賞、楽器演奏（クラリネット、パーカッション）
- ③一人暮らしや仕事の上で慣れないことばかりですが、マイペースに頑張っていきます。



たなか ひろとも  
田中 啓友  
(岐阜署)

- ①長野県大桑村
- ②読書

③高校を卒業し社会人となり、自分の行動に責任を持ち仕事に打ち込んでいきたいです。



つつみ たかひろ  
堤 隆博  
(東濃署)

- ①愛知県名古屋市中区
- ②水泳、卓球、登山
- ③少しでも早く仕事に慣れるように頑張りたいと思います。よろしくお願います。

☆Ⅱ種採用



なかさと ゆき  
中里 裕貴  
(東信署)

- ①東京都江東区
- ②サッカー
- ③分からないことばかりですが、早く一人前になるために、日々、勉強の精神で頑張ります。



さだ ゆき  
佐田 有紀  
(南信署)

- ①岐阜県岐阜市
- ②バレーボール
- ③少しでも早く自立し、自分らしい仕事が出来ると頑張ります。



きた しげお  
北 重太  
(東濃署)

- ①愛知県名古屋市中区
- ②ドライブ
- ③分からないことだらけですが、早く一人前の職員になれるように日々勉強に励みます。



うえまつ ゆた  
植松 裕太  
(愛知所)

- ①兵庫県西宮市
- ②野球
- ③学生時代に林学を専攻していなかったのですが、体調管理に気をつけ頑張りたいと思いますので、よろしくお願います。

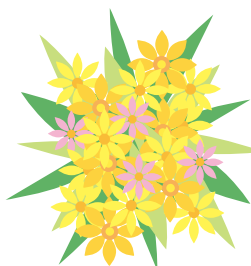


ちしま ゆた  
千島 祐太  
(伊那谷)

- ①埼玉県秩父市
- ②紅茶・コーヒー、ダム巡り
- ③誰にでも挨拶をして、型にはまらない柔軟な考えを持った社会人になりたいです。

行事・会議等の予定

- ◎緑の募金 5月4日 長野市
- ◎森林の市 5月8日～9日 東京都
- ◎署長等会議 5月12日～13日 長野市
- ◎名古屋シティ・フォレスター事業 5月13日・21日・29日 岐阜署・木曾署・愛知所管内
- ◎森林ふれあい講座 5月15日 愛知所管内
- ◎ふるさとの森林づくり「植樹祭」 5月18日 東信署管内
- ◎未来世紀につなぐ緑のバトン 5月22日 木曾署管内
- ◎愛知県植樹祭 5月22日 愛知県飛鳥村
- ◎国際生物多様性の日・COP10開催半年前記念行事 5月22日～23日 愛知県名古屋市中区
- ◎とやま森の祭典 5月28日 富山県射水市
- ◎長野県植樹祭 5月29日 長野県駒ヶ根市



リンケイ新聞社に 感謝状を贈呈

「総務課」平成二十二年三月十六日、局長室において、惜しまれながら三月に休刊することになったリンケイ新聞社に対し、これまでの国有林野事業への貢献に謝意を表するため感謝状を贈呈しました。

リンケイ新聞社は、昭和二十五年に信濃林業経済新聞社として長野県内ではじめての林業・木材産業の業界紙として発足し、昭和五十八年に現在の「リンケイ新聞社」に社名を変更しました。この間、昭和五十三年には七五〇〇部発行と東京都、愛知県、富山県、山梨県及び群馬県に支社を開設しました。木材産業の発展のための多くの出版物を発行したほか、長野林政記者クラブを結成して国有林の主要事業の各種取組に関する取材と報道に努めました。

各地からのたより

松本市奈川地区で 森林整備推進協定を民国で締結

「中信署」平成二十二年三月二十三日、松本市役所において、森林の有する多様な機能の高度発揮を図るため、民有林と国有林が一体となって森林整備を推進することを目的として、松本市、長野県松



森林整備推進協定調印式

本地方事務所、中信森林管理署、松本広域森林組合、奈川地区町会連合会による、「第一回森林整備推進協議会及び協定調印式」が開催され協定を締結いたしました。

今回の森林整備推進協定の対象となる区域は、奈川地区の国有林と民有林全域となり、協定面積一、一、二、三、四は、全国一となります。対象区域内での具体的実施計画として寄合渡地区に「大寄合団地」を第一号モデル団地として設置し、路網整備・施業連携等に取り組みます。今までの森林整備協定が、ややもすると実施計画策定のみで終了したことを教訓として、寄合渡地区以外の土地所有者がモデル団地の取組を参考にすることで、より多くの森林所有者に理解していただき、協議会に参加することで随時整備団地の実施計画を推進し、よりよい森林整備に取り組みむところに特徴があります。

松本市奈川地区は、森林率九十五%、国有林率四十五%と中部山岳森林計画区内では高く、上部に国有林、下部に民有林が占めていることから、連携した路網整備・施業連携等を行うことで、流域単位での統一的な森林整備及び素

材生産の効率化・低コスト化が図られ、森林整備が、より効率的・効果的に促進されることを期待されています。なお、今後の予定としては、七月期に中信森林管理署主催の育樹祭において協定締結記念式典を行い、地域住民等への協定取り組みの周知を図ります。

### 若手職員が 森林GIS伝達研修を実施

【東濃署】三月八日、東濃署は森林GIS機器の活用方法について伝達研修を実施しました。これは、今年一月に局で実施された「国有林地理情報研修」を受講した当署の若手職員二名が、研修の成果を職員に広めようと企画したもので、出署日での実施に向け、内容を自ら検討し、準備を進めてきました。

当日は森林官を中心に多くの職員が参加、パソコンとプロジェクターを利用して、条件を指定した検索やフリーデータの作成など、現場業務での活用に重点をおいた内容で実施されました。

参加した職員からは「現場業務で実践できそうだ」「森林GISの新たな利用方法として勉強になった」などの感想が寄せられ、各現場での森林GISを活用して業務の効率化や森林調査

率化や森林調査



伝達を受ける職員

簿の精度向上が期待できます。

### シリーズ 現場最前線 安全確保に努めます

【愛知森林管理事務所 田口森林事務所】愛知森林管理事務所田口森林事務所は、愛知県東部の東三河に位置し、北設楽郡設楽町に所在する国有林約二、八〇〇鈔と、官行造林地約七二鈔を管理しています。

東三河流域は「三河材」の主要な産地として古くから林業が盛んに行われており、管内国有林の九五%はヒノキを中心とした人工林となっています。また、流域の主である豊川は、流量の変化が大きく、豪雨となれば洪水、日照りが続けばまたたく間に渇水となるような不安定な性質を持つため、古くから下流域では度々農業等への被害を受けていました。

今日では「豊川用水」が整備され本流から遠い渥美半島の先までを潤しています。この水源地である段戸国有林は、水源涵養等の保安林に指定されており、森林の保水能力を高め良質な水を安定的に供給するため複層林施業を進めつつ、林産物の計画的・安定供給に向けた適切な保全管理に努めています。

班員は、基幹作業職員一名と臨時作業員数名の体制で、作業内容はある切、歩

道修理、林道の維持修繕、収穫調査、境界巡検、監督員補助、庁用車運転など多岐に亘っています。

作業地の中には、ササが多く、急傾斜地で岩場等の作業環境の悪い箇所もあり、また少人数による業務や作業内容も日々変わることから、毎朝、森林事務所作業の打ち合わせを行い、行動予定を確認し、労働災害の未然防止に努めています。蜂や梅雨時のダニも多く、これからの時期、施設の周りや、レクリエーションの森をはじめ、夏季に自然観察会を開催する主要箇所には蜂の誘因捕殺を行い、職員はもとより国有林を訪れる人々の安全確保を図ります。

今後も安全作業に取り組み、また日頃から健康管理に努め、無災害を継続していきたいと思っております。



収穫調査の様子